

日本土壌肥料学会2025年度新潟大会 公開シンポジウム

気象変動条件下の水稲生産におけるケイ酸の有用性

日 時：2025年9月19日（金）13：00-16：00

会 場：新潟大学総合教育研究棟 H会場（F271）

趣 旨：水稲の健全な生育や玄米品質向上に重要なケイ酸の有用性に改めて注目する。本シンポジウムでは、これまで明らかになっている水稲のケイ酸吸収特性、土壌中ケイ酸の形状や動態、ケイ酸資材の施用と効果のバランスによる長期的視点での経済性評価、さらに水田からのCH₄発生抑制効果についての知見を整理する。そして、近年の夏期の異常な高温や乾燥による玄米収量や品質の低下に対するケイ酸の効果を確認すると共に、知見の効果的な普及に関する議論を行う。

次 第：

座 長 団：当真 要（北海道大学大学院農学研究院）

大峽 広智（新潟県農業総合研究所）

南雲 芳文（新潟県農業総合研究所）

13：00 挨拶・趣旨説明

当真 要

13：05 ケイ酸資材を用いた土づくりによる水稲の高温登熟障害の緩和

伊藤 豊彰（株）ファーム・フロンティア，新潟食料農業大学）

13：35 製鋼スラグを原料とする含鉄ケイ酸資材施用による水田メタン削減の可能性

－ベトナム，インドネシアの水田における試験結果－

伊藤 公夫（日鉄テクノロジー株）

14：05 岐阜県内水稲栽培におけるケイ酸施用指針の設定

和田 巽（岐阜県農業技術センター）

14：35-14：50 休憩

14：50 土づくりへの行動に導く戦略～土づくりは明日への投資～

藤井 弘志（株）ファーム・フロンティア）

15：20 総合討論